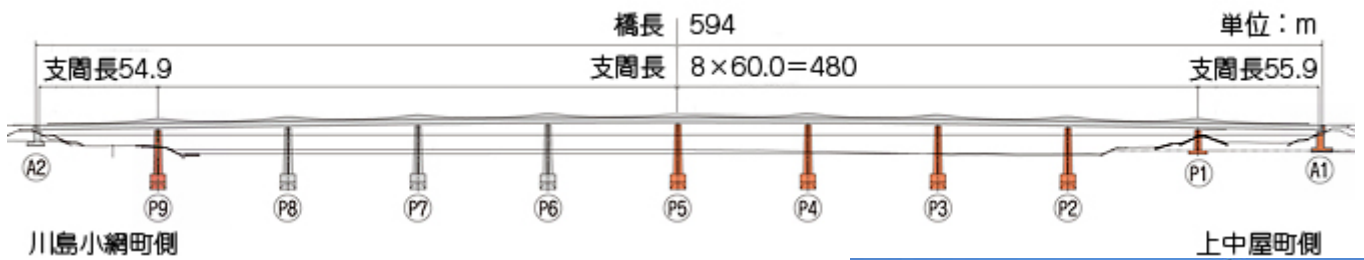


いつも大変お世話になり厚く御礼申し上げます。各務原市議会では平成22年6月定例会が行われ、平成22年度各務原市一般会計補正予算（第1号）など22議案と請願4件が審議されました。審議の中で（仮称）各務原大橋の総事業費が136億円から13億円減額され123億円になったことが明らかになりましたので、その内容をご説明します。

（仮称）各務原大橋の事業費について（平成22年6月現在の内容）



◆総事業費123億円

入札結果などを含めると、右の表のようになり、総事業費が136億円から13億円の減額となり123億円となりました。

工事金額の増減

工区	金額
上部工	△14億円
用地	△2億円
調査委託	△1億円
橋脚工事	2億円
取付道路	2億円
差引き	△13億円

完成したP2～P5橋脚



各務原大橋事業内容

工事名	工区	概要	工事費	備考
橋梁部下部工	橋脚工事	橋脚9基(P1～P9)	18.9億円	P1～P5、P9工事完了(上の写真)
	右岸	橋台1基(A1)	3.3億円	工事完了
	左岸	橋台1基(A2)	(未定)	平成22年度施行予定
橋梁部上部工	その1工事	上部工	18.5億円	入札終了(落札率約57%)
	その2工事	上部工追加工事	(未定)	平成24年度迄に施行予定
(橋梁部計)			約41.0億円	
道路部	道路	延長=560m	2.2億円	平成24年度迄に施行予定、全体延長約2km
	アプローチ橋		(未定)	平成24年度迄に施行予定
用地		用地買収・補償	31.0億円	25億円(全体の81%)が契約済
調査費他			4.0億円	
総合計(現在までの見込み金額)			約80億円	※総額123億円になる見込み



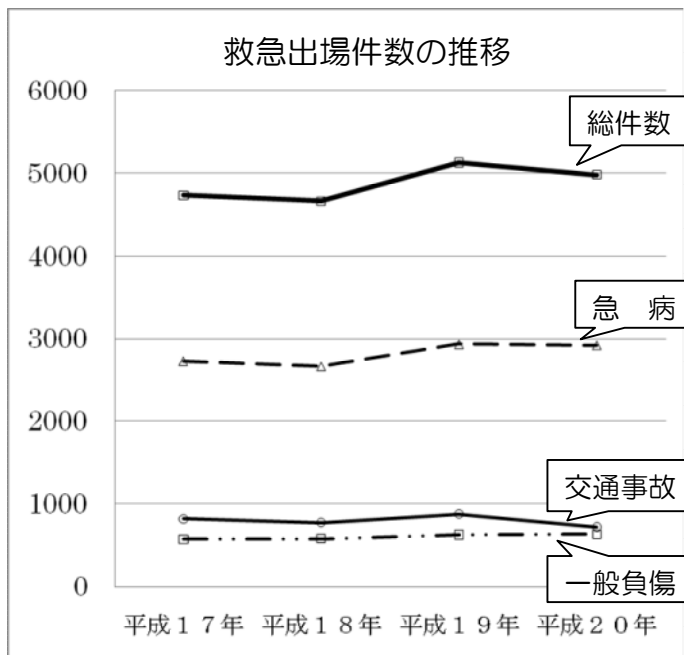
各務原市の救急体制について 6月議会での一般質問

○救急搬送件数は増加傾向

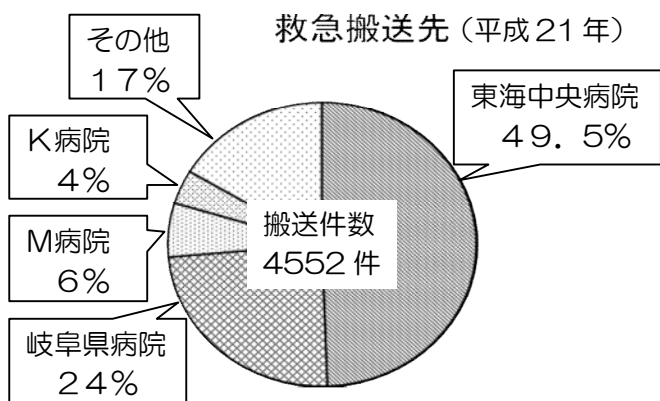
交通事故件数は減少傾向ですが、社会の高齢化に伴い急病での搬送件数が増加傾向で、全般的に救急搬送は増加傾向です。搬送のうち軽症搬送者の割合は53%になっています。

○救急車は市内に7台あり、来年度中には7台全てが高規格運用になります。(高規格運用とは除細動、気管挿管、薬剤投与が可能になることです)

○高度な救急活動が必要になるため、救急救命士が24名になりましたが、二交替の隔日勤務のため最低28名の救急救命士が必要になりますので、さらに養成していきます。



各務原市の救急搬送先について



○東海中央病院が半数を受け入れ

平成21年は年間4,552件の救急搬送のうち東海中央病院が2,255件で49.5%、1日平均すると6人以上を受け入れています。

○岐阜県病院が約1/4を受け入れています。

○現在の救急指令設備はアナログ式で、通報時に住所を聞いてから、場所を確定しています。通報と同時に発信地がモニターで表示できるデジタル式の指令設備更新を検討しています。



東海中央病院の医療体制整備について

○東海中央病院の医師は、小児科・産婦人科を除きおおむね充足

看護師については勤務環境の改善により、一昨年から増員に転じており、休止していた1病棟を今年1月以降再開しています。小児科医・産婦人科医の確保のため、病院長を中心に県総合医療センターや周辺の大学病院等にはたらきかけ、努力されています。今後、病院から何らかの要請があれば、市としてもできる限り協力していきます。



○議会インターネット中継について：「各務原市」又は、「杉山もとのり」のホームページから議会中継が録画でご覧いただけます。

また、私の日常の活動報告をホームページで更新していますのでご覧ください。